

第 | 4 2 号 発行日 2022.6.15

農業委員会だより

NUMAZU Agricultural committee NEWS



▲生産者の齋藤嘉規さん

あなたも栽培した作物を出荷してみませんか

齋藤嘉規さんは東椎路にある「KAU~ら」にイチゴを出荷しています。齋藤さんのイチゴは 苗から育てており、完熟してから収穫するため、どれも甘くてジューシーです。

「沼津市のイチゴといえば齋藤農園!と言ってもらえるように試行錯誤中です。ジャム用に大容量パックを作ったり、小分けにして旅先でも食べられるように工夫しています」と真剣に語ってくれました。

今回紹介した齋藤さんはファーマーズなんすんの会員です。店舗には、地元の採れたてで新鮮 な野菜や果物が数多く並び市民の方から高評価を得ております。

ご興味のある方は是非この機会に出荷してみてはいかがでしょうか?







献茶式を開催しました!

令和4年は愛鷹山の開拓に尽力し、沼津茶の礎を築いた江原素六先生の生誕180周年、没後100周年の記念の年です。先生の功績を顕彰する江原素六先生顕彰会により、沼津駅北口広場にこのことを記念した先生の銅像が建立されました。

令和4年5月15日に銅像の除幕式が執り行われ、同日、 例年は江原素六先生記念公園にて執り行われる献茶式が 同所にて執り行われました。

先生の縁の方や静岡県知事をはじめとする多くの出席 者が、厳かな雰囲気の中、先生の銅像へ献茶を行いました。



みかんの着花調査を行いました!

例年5月になると三浦地区(西浦、内浦、静浦)では ある花の香りが充満します。その花の正体は地域の特産 品であるミカンです。この開花時期からいよいよミカン の栽培管理が本格的にスタートします。

5月12日には、開花時点での管内生産量予測の調査のため、出荷部会の各地区代表者や県東部農林事務所、 JAふじ伊豆職員等、計29名で32園地を巡回しました。

園地で着花や発芽の状態などを調査し、分析した結果、 本年産は芽・花ともに充実しており表年傾向であること が確認出来ました。



北山の棚田が「つなぐ棚田遺産~ふるさとの誇りを未来へ~」に選定!

戸田にある北山の棚田が「つなぐ棚田遺産」に認定されました。

「日本の棚田100選」にも選定された北山の棚田ですが、 選定から20年が経ち、今後も残したい、多様な主体が積 極的な維持・保全を行う優良な棚田として、改めて選定 されたものです。3月25日には認定式が開かれ、耕作者 代表に認定証が授与されました。

存在感を放つ棚田は、春夏秋冬を通してさまざまな顔 を見せてくれます。戸田にお越しの際は、ぜひお立ち寄 りください。



沼津市農業委員会だより 第142号

発行・編集 沼津市農業委員会 〒410-8601 沼津市御幸町 16-1 TEL 055-934-4757







沼 獣 塾 を

お

ぎ

IJ コ

テ

ス

高校生を対象に、

ブランド米

コ ン

目的

や見回り方法、 た。 また、 罠の の 研修会を開催しまし 実際の いて、 方を 有害鳥獣による農作物 故事例に シカの生態フィ を とし 関 用 L 1, 7 7 た座学を 道具の た。

鰹節. 案したっ をかけて テス るが 醤油を塗って焼き目がつくまで焼き、 全 78 作 トを開催しまし の極」 白いりごま・だしを混ぜたおにぎりに、 「ぬまづ茶のおにぎり梅茶漬け」です 沼津西高校 食べるなど様 を使用した の 応募が のチ あ おに な工夫が施されて ぎ 4 ラ ゅ ンプ か 二 ュ に

沼津茶 イアウト

ベテランの方と

ジ

者

の

方

な

り実習

してお持ち帰りい

ただきま

た。

に盛り上げていきましょう

皆さんも

「するがの極」

を

・お米で

終始和や

は自身で罠を組み立て、

根付の注意点、標識の掛け方、

は、

実際に

罠設置、

見回り方法を、

沼 津茶ブ ラ ン ド ブ ッ

だしたパンフレット「沼津茶ブランド津市茶業振興協議会では沼津茶のP のこ の ブR ッ

の製品などが紹介されており、 となっており や沼津み 情報では店舗ごとの た販売店の ので、 ۲ なと なっ 出 ます。 新鮮館 掛 て 報を掲載 け おり、 また、 の こだわ 際は、 などに配架さ マッ や て 、プと併 充実し の製法 さ ŧ の ŧ にれ沼 エ T夫して に内容 した内容 に内容 取て津 っおコ てりー

野菜の作り方を教えて頂ける農業者を募集

沼津市・JAふじ伊豆なんすん地区本部では、新規就農者の育成・確保に向けて「きままに就農」 の募集・運用を4月よりスタートしました。農業経験者や未経験者まで就農意欲のある方を幅広く募 集し、農地や栽培技術の提供により、ファーマーズマーケットでの販売を目指します。栽培指導にご 協力いただける方は、下記までお問い合わせください。

【研修内容】

対象作物:野菜類

指導内容:就農者の圃場で半年に5回程度の栽培指導(| 回 | ~ 2時間程度)

※就農希望者との面談にご出席いただく場合があります。

指導報酬: 2万円(交通費込、5回 | セット)

【就農支援イメージ】



【お問い合わせ先】

- ·JA ふじ伊豆 なんすん営農経済センター 地区営農課 TEL 055-931-3132
- ·沼津市役所 農林農地課 TEL 055-934-4751

ファーマーズなんすん会員募集中!

JAふじ伊豆なんすん地区本部では、ファーマーズマーケットへの出荷にご興味のある 農業者の方を随時募集しています。初めて出荷される方も大歓迎です。入会費・年会費 は無料!

入会・出荷方法等については下記までお問い合わせください。

JA ふじ伊豆 なんすん営農経済センター 地区販売課 TEL 055-931-3132

※農産物出荷者募集説明会

令和4年7月13日(水)・8月10日(水) $(1)10:00\sim11:00$ $(2)15:00\sim16:00$

申込締切▼

7月13日 説明会:7月6日(水)まで 8月10日 説明会:8月3日(水)まで